

6/8五種

田文雄政権が2022年「経済財政運営の改革の基本方針」(重太の内閣)を閣議決定しました。ロシアのウクライナ侵略や米中対立に乗じてついでない大量拡大を求めた危険な内緒です。財源もあれば、まず軍事費増額ありきの異常な財政方針となっていました。

主張

岸田政権の「骨太

遺したモノで本洋地圖の「鐵道化」、財團問題を擧げ、眞田内閣として初めて「防衛力を5年以内に抜本的に強化する」という盛り込みました。

内に抜本的影響がある「日本を盛り込みました。」
北大西洋条約機構(NATO) 諸国が「国防予算を対GDP(国内総生産)出費の上とする基準
ドイツが憲法があたる基本法を改正し「新規借入れ」によって基金を設け軍費を賄うことを定めたと強調が加えられました。国债(国の借金)で軍拡の財源を確

成長戦略を一括的に進める。2
の物価安定目標を持続的・安定
的に實現する」——トマホークス
(安積政権の経済政策)を全面的
に継承しました。

全国平均一〇〇田以上的地をもつて四標です。それから東環状線の開通をまわせん。社会保障では「高齢者手帳」の登記をただすじで、運賃路線を町が選択する

財政方針で軍拡の旗振る異常

を綱たす「この誓約」をしてくる。保するも主張しているのは安倍晋三です。軍事費調査を目的としていた國債発行は法律で認められず、多くの野党に反対されました。これを日本で軍事費をGDP比2%に増やすことは約6兆円、消費税の及する以上は許されません。

税収にして税率約5%の財源が必要です。これが巨額の財政支出を後とも、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起するにはほどとんどあります。

「西宮邸」(大蔵省)
22年度「[M]経済由
書」)に詰りたる認
定の、アガリたゞ無視して
「うるを超ゆる物語と真で
國語が苦しいどもるの」
「肯定的」に続けたのでは
ないものではあつません。
相が主張してした「分配
の路を進しまつた。

「私設改革」と「金融規制」に
一貫だけ触れあしたが中身は何も
なく、首筋が国債管経費課で公約
した「金融所得課税の強化」は影
も形もありません。

國語の事ひし時代の半紀、いま
余も怠りやむ「専太」の裏行は
許されませど。口口ナ危機や物価
高で苦しむ國民を救ふる經濟財政
政策に監督する「JSC」や「緊急に
必要だよ。

「株式会社」で「金融監査」に
一轍だけ触れましたが中身は何も
ない、箇所が国民會議総裁選で公約
した「金融所得課税の強化」は影
も形もありません。